

令和8年度(第1回)松山市景観審議会 議事録

日 時:令和8年5月7日(木) 10:00~10:30

会 場:KH 三番町プレイス 3階 第2会議室

- 次 第: 1.開 会
2.挨拶 開発建築部長
3.委員紹介
4.議 事 (1)会長及び副会長の選任
(2)松山市の景観施策について
(3)第15回まつやま景観賞について
5.閉 会

出席者: 愛媛大学 社会共創学部 教授 井口 梓
愛媛大学 法文学部 教授 兼子 純【会長】
愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授 郡司島 宏美【副会長】
松山大学 経営学部 准教授 森田 正大
愛媛県建設業協会 松山支部 建築部会 副部長 有光 智幸
愛媛県屋外広告美術商業組合 理事長 岩田 諭毅
松山商工会議所 専務理事 久保 圭一郎
愛媛県建築士事務所協会 理事 高橋 朋子
有限会社フェイス 坂上 萌
三原 紗弥子

欠席者: 愛媛大学 社会共創学部 講師 片岡 由香
松山市小中学校 PTA 連合会 副会長 宇都宮 望見

議事要旨:

(1)会長及び副会長の選任

事務局	会長及び副会長は委員の互選により選任されることを説明。 委員一同の同意のもと、選任の進行役となる座長に井口委員を指名。
座 長	会長及び副会長の推薦を依頼。
委員 A	会長に兼子委員、副会長に郡司島委員を推薦。
座 長	委員一同の同意のもと、会長に兼子委員、副会長に郡司島委員を選任。

(2)松山城の眺望を含む都市景観について

事務局	これまでの松山市の景観施策を振り返り、松山城の眺望を含む都市景観について、これまでに委員のみなさまから頂いた意見を踏まえて、今後、さらに具体的な制限を検討していくことを説明。また、令和7年度松山城眺望景観めぐりの取組とイベント後に実施したアンケート結果を紹介し、今後も景観の保全に対する意識醸成に繋がるよう、取り組んでいくことを説明。
委員 B	松山城眺望景観めぐりのアンケート結果で、具体的な感想に、「このステキな景観を守っていかなければならないと思った。」があるなど、松山城は重要な眺望だと考えている市民が多いかと思う。その中で、ゴールデンウィークでも松山城に入るために、長い行列ができるなど、県外の方にとっても、松山城は観光スポットであると考えられる。そのため、我々、松山市民も松山城をこれからも守っていかないといけないと思う中で、高さ制限127mの松山城の地盤面の高さまでOKという規制は、どのあたりの範囲までを想定しているのか？
会長	高さ制限の範囲について、ご質問があった。事務局から説明をお願いします。
事務局	過去にたたき台で提案させていただいたのは、松山城から半径2kmの範囲だが、委員のみなさまから様々なご意見をいただいたため、今後、具体的な検討ができるようなツールを導入することを検討している。ツールを使って、例えば高さや色彩、範囲などをこれから検討していくことを考えている。
委員 B	松山城を中心として、2kmの範囲内で、高層ビルが立ち並んだと仮定すると、2kmから離れたところから松山城が見えなくなるということも懸念される。ビルの間隙からは松山城が見えるが、角度によっては見えにくい。そのあたりを今後検討していくことが必要ではないかなと思う。
会長	2kmの範囲などを示した地図などがあれば、イメージがわかりやすいため、次回そういったものがあればと思う。 事務局は、出された意見を踏まえて引き続き、進めてほしい。

(3)第15回まつやま景観賞について

事務局	第15回まつやま景観賞の今後のスケジュール等について説明。
会長	委員のみなさまから、なにか意見等はないか。
委員 C	松山城からの眺望を踏まえた高さ制限に関して、結構前から議論をしているが、今後の方針があれば教えていただきたい。
会長	今後の見通しと現状について質問があった。事務局から説明をお願いします。
事務局	今後、具体的にどういった形で、規制をかけていくかについて、まだ具体的な案として提示できるものは無い。 今後、規制の範囲や高さについて、一律の高さなのか、斜線のように緩やかな規制

	をかけていくのかを検討できるツールを具体的に導入することを検討していて、そのツールを使い、いろいろな案を示しながら議論をさせていただきたいと思っている。
会長	この点については、これまでも議論を深めてきたが、まだまだ今後検討されているということであるため、引き続きお願いする。

以上